

自治協だより

令和4年新年号

広田地区自治協議会



<https://hiroda.net/>

← (QRコード)

「正月」は1月の別称ですが、1日が元旦、3日までを三が日、7日までを松の内といい、さらに1月15日の「小正月」まで、さまざまなお正月行事が行われます。1月を「睦月」と呼ぶのも、正月に一家揃って睦みあう様子を表したものです。多くの方がお正月を家族で過ごし、当たり前のようにおせちを食べたり、お年玉のやりとりをしたりしていますが、一つ一つのものごとにも大切な意味が込められています。昔から、元旦には「歳神様」(としがみさま)という新年の神様が、1年の幸福をもたらすために各家庭にやってくると思われています。お正月の行事は、「歳神様」をお迎えし、おもてなしをし、お送りするという意味があるそうです。



新年の挨拶

広田地区自治協議会 会長 嶋田 裕治



新年、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新春をお迎えになられたことと存じます。

さて、広田地区自治協議会の活動におきましても、新型コロナウイルスの影響により抑制せざるを得ない状況にあります。しかし、ワクチン接種の効果か新規感染者が減少しており、新種株の出現でまだまだ予断は出来ませんが、本年こそは明るい兆しが見えて来てほしいと願うばかりです。

このような中、知恵を出し合い三蜜を回避しながらの地域の絆づくり事業、行事等に取り組んで頂きましたことに心より感謝いたします。

七夕まつり、戦没者追悼式、年末のしめ縄づくり、門松づくり等は規模を縮小して実施し、ふるさと祭り中止の対応においては、公民館活動団体の館内ギャラリーでのリレー展示、昨年度から運用の自治協ホームページ上のオンラインステージにより活動を紹介しています。

重要な地域課題の一つである防災対策としては、昨年度策定の広田地区防災計画を踏まえ、県・市が主体の小森川洪水ハザードマップ作成会議で地域課題について意見、問題点を述べるとともに、11月に小森川、金田川、浦川内川等に関する要望書を提出したところです。

また、長崎県と佐世保市が地域活性化・振興策として推進しているハウステンボス敷地内に計画中の九州・長崎IRにつきましても、本年も周辺7地区自治協議会が一体・連携してその課題等の対応に取り組んで参りたいと存じます。

以上のように本協議会におきましても様々な地域課題がありますが、地域計画のテーマ【集い・交流・心豊かなまちづくりを 目指して】のもと、総務会を牽引役に生涯学習部会、青少年部会、保健福祉部会、防犯防災・環境の各部会が、新たにスタートした市広田地区コミュニティセンターと連携・協力し取り組んで参る所存でございます。

つきましては、皆様には本協議会の活動に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

《年末年始行事予定》

12月 26日 消防団年末警戒市長巡視(第4分団21:14) 各自治会長参加は中止

1月 6日 消防出初式(10:00~) 祝賀会は中止

1月 7日 鬼火だき(10:00~) :残念ですが今年もぜんざい会は中止します。

:年男、年女(12歳)による火入れを行います。御参加をお願いします。

:お越しの際には、マスク着用をお忘れなく、また、三密とならないよう十分な間隔を取っていただくようお願いいたします。

『炎と竹のはじける音で新型コロナウイルスを退散させ、健康で安全な新年を祈願いたしましょう』

<法務大臣より感謝状授与 佐世保更生保護女性会 広田支部>

長きにわたり、更生保護活動に尽力され、その功績に対し、前 佐世保更生保護女性会副会長兼広田支部長 木原 玉樹 様に法務大臣からの感謝状が贈られました。

感謝状は令和3年6月8日付ですが、コロナ禍の影響で伝達式がのびのびになり、令和3年11月29日に伝達式が長崎市で行われました。



<佐世保市安全・安心まちづくり市長賞授与 広田子ども見守り隊>

防犯意識の高揚と地域の自主的な防犯活動の活性化に著しい功績が認められ、「広田子ども見守り隊」に市長賞が贈られます。

1月27日(木) 13:30～ 市交通安全学習館 2階講堂で贈呈が行われます

◎コミュニティセンターに門松が出来ました

今年も、立派な門松が出来ました。竹、松、梅、ゆずり葉、南天等ご提供いただきました皆様へ心より感謝申し上げます。総務会の皆様寒い中制作ありがとうございました。女性有志の皆さまの「トン汁」、身も心も温まりました。皆様のご協力に感謝いたします。

